



校長だより

ざまたん
座間小キャラクター

座間市立座間小学校（電話 251-0009）
校長 大谷 一

長い夏休みが終わり、2学期がスタートしました。この夏はパリオリンピックがあり、8月29日からはパラリンピックが始まりました。選手たちの頑張る姿に感動しました。よい結果が出せた選手だけでなく、よい結果がだせなかった選手の姿にも、観ている私達には分からない努力の積み重ねがあったことを感じさせるものがありました。

さて、2学期は大きな行事がありますので、授業だけでは身に付けることができない貴重な体験を通して、子どもたちが一回り大きく成長して欲しいと願っています。



5年生キャンプ



1年生音楽の授業

夏休み期間に貴重な体験をさせていただきました。8月1日（木）に座間小学校の前を鈴鹿神社のお神輿が通ったので、学校から出て正門で応援していたところ、前PTA会長と副会長から「校長先生もお神輿を担ぎませんか？」とお誘いをいただきました。急なことでしたが、好奇心旺盛な性格から「ぜひ担がせてください」と応え、お神輿を担ぐことができました。今から30年くらい前に当時サラリーマンをしていましたが、その仕事関係で町田の神社のお神輿を一度担いだことがありました。しかし、地元のお神輿を担ぐのは初めてだったので、光栄でしたしとても嬉しかったです。

座間小学校の校長になってから、7月31日には子ども神輿の宮出しに招待されてその場で挨拶をすることになっているので、そのときに座間小学校の児童にも会いまし、子どもお神輿と一緒に神社の周りをまわっているときにも、たくさんの児童に会い、また児童から「あっ、校長先生だ」と声を掛けられ、みんなの元気な顔を見て安心していました。

このようなことは座間小学校の校長だから経験できることであって、他の学校にはここまでの関りはありません。改めて座間小学校の校長でいることの豊かさを実感いたしました。

自分が子どもの頃は、夏休みは大好きでしたが、夏休みの宿題が嫌でした。小学生の低学年の頃は宿題が終わらなくて泣きそうになって親に叱られながら手伝ってもらって終わらせていました。その後少しずつ嫌な経験を重ねて、夏休みの宿題は、宿題が出されたらすぐに取り組み始め、できるだけ早く終わらせると精神的に安らかな気持ちになることを実感するようになりました。このときの経験が今の自分にも活かされていて、仕事はできるだけ早く取り組み始めて、早めに終わらせることがしっかりと自分に定着しました。学校での経験が生きていることの一つです。学校では授業で様々な知識を身に付けたり、いろいろと考えることで思考力が身に付きますが、実はそれ以外にも、いろいろな場面でさまざまな力を身に付けることができることがたくさんあります。2学期はぜひ授業だけでは身に付かないけど将来役に立つような力をたくさん身に付けて欲しいと思います。